第一フロンティア生命の外貨建変額個人年金保険

ラップライフ

年金原資確定部分付変額個人年金保険（通貨指定型）

特別勘定　月次運用レポート

特別勘定名称

グローバル分散型SMTB（豪ドル）

この商品は、第一フロンティア生命を引受保険会社とする生命保険であり、預金とは異なります。

2025年3月発行

当商品は、一時払保険料を「定額部分」と「変額部分」に分けて運用します。
当レポートは特別勘定で運用する「変額部分」の運用状況を開示したものです。

［募集代理店］

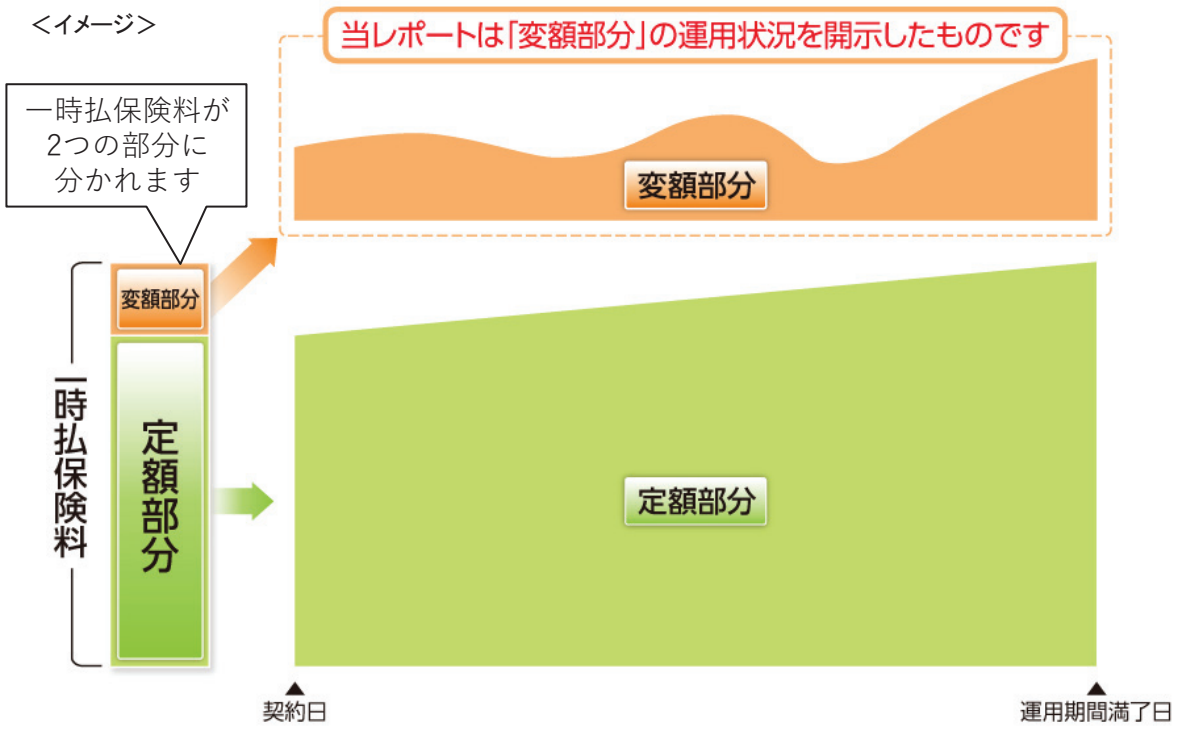
三井住友信託銀行

［引受保険会社］

第一フロンティア生命保険株式会社
〒105-0003　東京都港区西新橋1-1-1日比谷フォートタワー
ホームページ https://www.d-frontier-life.co.jp/
お客さまサービスセンター
フリーダイヤル　0120-876-126
営業時間 9:00～17:00（土日、祝日、年末年始などの休日を除く）

（登）B21F0569(2022.03.28)

この保険のしくみ図



お客さまに負担していただく諸費用について（この保険に係る費用は、以下の費用の合計になります）

運用期間中	定額部分における費用	直接負担していただく費用はありません。積立利率の計算にあたって、ご契約の締結・維持などに必要な費用および死亡給付金を支払うための費用をあらかじめ差し引いております。
	変額部分における費用	保険契約関係費・・・特別勘定の資産総額に対して年率 1.85% 資産運用関係費※1 ・・・信託報酬は、投資信託の純資産総額に対して年率 0.11%（税込）
	特定のご契約者に負担していただく費用	解約控除・・・この保険の基本保険金額に経過年数別の解約控除率（8.5%～0.9%）を乗じた金額 ＊2016年4月までにご契約の解約控除率は 10.0%～1.0%となります。
年金受取期間中	保険契約関係費（年金管理費）※2 ・・・ 受取年金額に対して 0.4%（円貨で年金を受け取る場合は最大 0.35%）	
通貨を換算する場合の費用	「保険料円貨入金特約」、「保険料外貨入金特約」などの特約の為替レートは、為替手数料としてTTMとの差額（25銭～50銭）を加味したレートであり、その差額はお客さまの負担となります。※3 この他に外貨のお取扱いに必要となる費用を負担していただくことがあります。	

※1 記載の資産運用関係費は2022年4月現在の数値であり、将来変更される場合があります。上記の信託報酬のほか、金融派生商品の取引に関わる費用、監査費用、信託事務の諸費用および消費税等を間接的にご負担いただきます。これらの費用は、費用発生前に金額や割合を確定することが困難なため、事前に表示することができません（ただし、金融派生商品の取引に関わる費用のうち参照指数の助言報酬、指数の組成・維持およびレバレッジ取引等にかかる費用は、参照指数の算出に際し、金融派生商品の投資元本を最大約4倍にふやした実質運用資産に対して年率1.8375%以内です）。

※2 年金額は、年金支払開始日以後、年金の支払いとともに費用を控除する前提で算出されますので、費用が年金額から差し引かれるものではありません。また、保険契約関係費（年金管理費）は当レポート発行月現在の数値であり、将来変更することがありますが、年金受取開始時点の保険契約関係費（年金管理費）は年金受取期間を通じて適用されます。なお、「死亡給付金等の年金払特約」を付加した場合の特約年金についても同様の取扱いとなります。

※3 為替レートは当レポート発行月現在の数値であり、将来変更することがあります。

特別勘定の運用レポート

2025年2月末現在

特別勘定で運用する「変額部分」の運用状況を開示したものです

特別勘定の投資方針

日本を含む世界（新興国含む）の株式、債券、REIT（不動産投資信託）、商品（コモディティ）、為替取引などを実質的な投資対象とする投資信託に投資し、特別勘定資産の中長期的な成長をめざします。

特別勘定の名称	主な投資対象となる投資信託の名称	運用会社
グローバル分散型SMTB（豪ドル）	ラップ戦略VAファンド（適格機関投資家専用）	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

※ 2022年4月1日付で、投資信託の主な投資対象を外国籍投資信託から円建債券に変更しました。当該変更を実施するにあたり、2022年3月7日付で投資対象に円建債券を追加し、主要投資対象を外国籍投信から円建債券へ切り替える対応を実施しました。なお、運用内容に変更はありません。

特別勘定の主な投資リスクについて

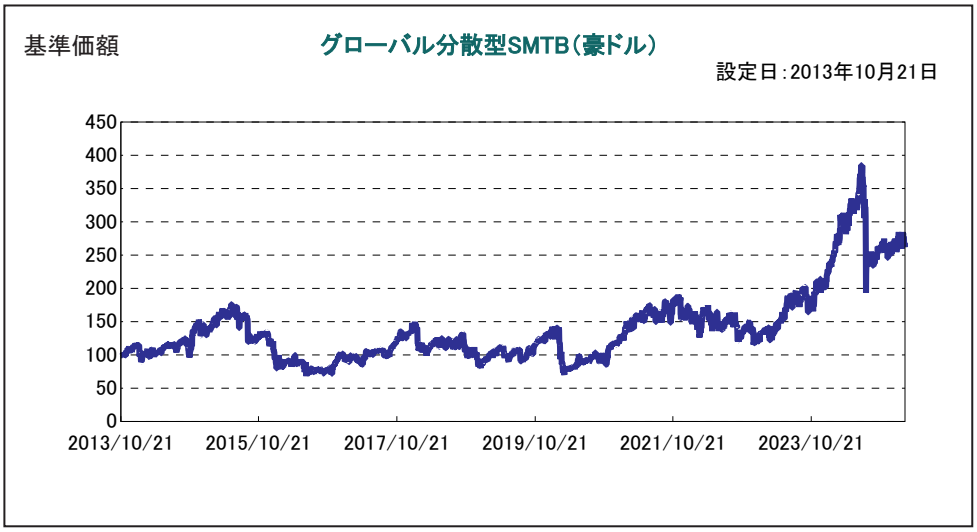
特別勘定は、日本を含む世界（新興国含む）の株式、債券、REIT（不動産投資信託）、商品（コモディティ）、為替取引などで実質的に運用されるため、株価や債券価格の下落、為替の変動などにより、変額部分の積立金額、解約返還金額は変額部分の一時払保険料相当額を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

特別勘定資産の内訳

資産総額（百万豪ドル）	資産構成	
	投資信託	現預金等
5	99.8%	0.2%

＊特別勘定は、投資信託を主たる投資対象として運用するほか、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有しています。
＊特別勘定資産の内訳は、投資信託の購入・解約の申し込み実績を反映しております。

特別勘定の基準価額と騰落率の推移



特別勘定の主な投資対象となる投資信託は円建ての投資信託であることから、豪ドル対円の為替レートの影響により、特別勘定の基準価額の動きと、投資信託の基準価額の動きは異なります。

＊非表示部分を四捨五入

騰落率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来	基準価額（2025年2月末）
	−4.24%	9.31%	9.18%	−0.64%	94.87%	169.24%	269.2361

＊特別勘定の基準価額の値動きは、特別勘定が投資対象とする投資信託の値動きとは必ずしも一致しません。
特別勘定が一定の現預金等を保有していることや、特別勘定の基準価額計算にあたり保険契約関係費を控除すること等によるものです。

ご留意事項

＊年金原資確定部分付変額個人年金保険(通貨指定型)は投資信託ではなく生命保険です。また、この商品は預金とは異なり、預金保険法第53条に規定する保険金支払の対象とはなりません。募集代理店が元本の保証を行うことはありません。
＊このレポートは年金原資確定部分付変額個人年金保険(通貨指定型)の特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
＊このレポートには年金原資確定部分付変額個人年金保険（通貨指定型）の商品内容のご説明はございません。ご検討、お申込みに際しては、専用の「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）兼　商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」などを必ずお読みください。

〈参考情報〉 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】
グローバル分散型SMTB（豪ドル）

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
ラップ戦略VAファンド（適格機関投資家専用）

【設定・運用】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

作成基準日： 2025年2月28日

グローバル分散型SMTB（豪ドル）が主な投資対象とするラップ戦略VAファンド（適格機関投資家専用）は円建ての投資信託です。
ラップ戦略VAファンド（適格機関投資家専用）は、実質的に豪ドルで運用するのと同等の経済効果があるように運用を行っていますが、円建の投資信託であるため、その基準価額は豪ドル対円の為替レートの変動の影響を受けます。

ファンドの特色

① BNP Paribas Issuance B.V.※が発行する円建債券（以下「投資対象円建債券」といいます。）を主要投資対象とします。
なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券並びに短期金融商品等に直接投資することもあります。

② 投資対象円建債券への投資を通じて、実質的に店頭デリバティブ取引を行うことにより、SMTBラップ戦略指数（円ベース）に概ね連動する投資成果を目指します。

③ 投資対象円建債券への投資割合は、原則として高位を維持します。

④ 資金動向、市況動向の急激な変化が生じたとき等並びに投資信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。

※ BNP Paribas Issuance B.V.はBNPパリバの100%子会社で、有価証券などの発行による資金調達や金融商品に関する契約の締結などを行っています。

信託財産の構成

	組入比率
円建債券	99.31%
コール他	0.69%
合計	100.00%

※対純資産総額比
※計算処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されていないことなどにより「コール他」の値がマイナスで表示されることがあります。

基準価額の騰落率

ファンド設定日：2013/10/21

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-6.60%	4.53%	4.51%	-2.40%	139.97%	240.01%
参照指数	-6.58%	4.66%	4.74%	-2.15%	143.42%	257.31%
差	-0.02%	-0.13%	-0.22%	-0.25%	-3.46%	-17.30%

※ファンドの騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
※参照指数は、「SMTBラップ戦略指数（円ベース）」です。SMTBラップ戦略指数（円ベース）とは、日本を含む世界（新興国含む）の株式、債券、REIT（不動産投資信託）、商品（コモディティ）、為替取引など、複数の構成要素へ投資することによって得られるリターンを組み合わせたものです。

【参考情報】

豪ドル／円	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
	-2.75%	-4.91%	-5.29%	-4.75%	12.39%	-1.44%

※豪ドル／円レートは、TTMレートを使用しています。

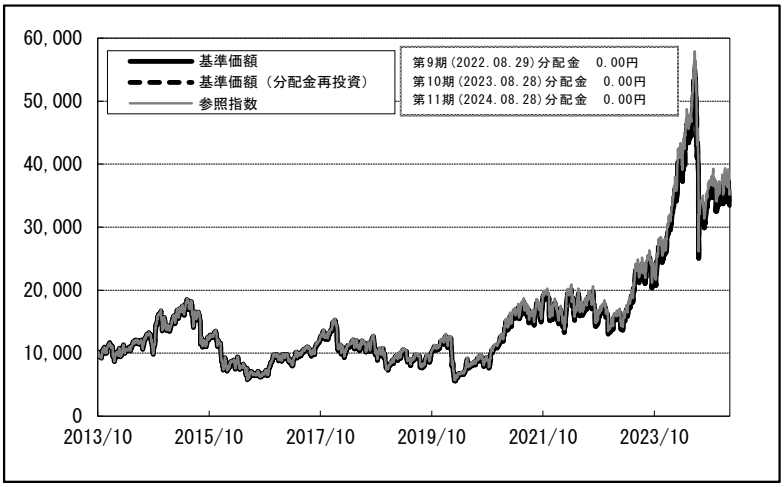
ファンドの状況

	基準日現在	前月末比
基準価額	34,001円	-2,403円
解約価額	34,001円	-2,403円
純資産総額	495百万円	-89百万円

※純資産総額は百万円未満四捨五入

基準価額の推移

設定来分配金合計 0 円
（10,000口あたり、課税前）



※当ファンド設定当初10,000として指数化しています。
※基準価額および基準価額（分配金再投資）は、信託報酬控除後の値です。
※基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

〈参考情報〉 **組入投資信託の運用レポート** 【特別勘定の名称】グローバル分散型SMTB（豪ドル）

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
ラップ戦略VAファンド（適格機関投資家専用）

【設定・運用】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

作成基準日： 2025年2月28日

組入銘柄

銘柄名	通貨	比率
BNPパリバ1 0% 2032／03／01	日本円	99.31%
－	－	－
－	－	－
－	－	－
－	－	－
合計	－	99.31%

※ 対純資産総額比です。

参照指数の構成要素

資産クラス	構成要素	月間騰落率	配分比率	
			前月末	当月末
国内株式	BNPパリバ 日本株先物指数（TOPIX）	-2.16%	25.0%	25.0%
外国株式	BNPパリバ 米国株先物指数	-4.84%	15.0%	15.0%
	BNPパリバ 欧州株先物指数	2.89%	13.9%	13.9%
新興国株式	iシェアーズ MSCI エマージング・マーケット ETF	1.33%	4.1%	4.1%
国内債券	BNPパリバ 日本国債先物指数	-1.02%	8.0%	8.0%
外国債券（円ヘッジあり）	BNPパリバ 米国債先物指数＋為替取引（円買い米ドル売り）	1.65%	0.0%	0.0%
	BNPパリバ 欧州国債先物指数＋為替取引（円買いユーロ売り）	1.04%	0.0%	0.0%
外国債券（円ヘッジなし）	BNPパリバ 米国債先物指数	-1.64%	6.0%	6.0%
	BNPパリバ 欧州国債先物指数	-1.54%	4.8%	4.8%
新興国債券	iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 ETF	-2.21%	1.2%	1.2%
国内株式（不動産関連株）	BNPパリバ 日本REIT流動性加重平均インデックス	-3.02%	3.0%	3.0%
外国REIT（不動産投資信託）・外国株式（不動産関連株）	iシェアーズ 米国不動産 ETF	-0.11%	4.5%	4.5%
	FTSE EPRA/NAREIT 欧州不動産指数	1.12%	1.5%	1.5%
商品（コモディティ）	ブルームバーグ商品指数	-1.43%	2.0%	2.0%
	S&P GSCI ゴールド指数	4.88%	5.0%	5.0%
SMTBヘッジファンド・ポートフォリオ・レプリケーター指数		0.18%	6.0%	6.0%
為替取引（豪ドル買い円売り）		-1.89%	－	－
合計		-6.58%	100.0%	100.0%

※「ラップ戦略VAファンド（適格機関投資家専用）」が投資する投資対象円建債券の資産内容は、三井住友トラスト・アセットマネジメントが各運用会社からの情報提供に基づき作成しておりますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。
※当ファンドは、実質的な借入れを使用して、基本ポートフォリオのポジション量（持ち高）を増減させているため、合計値が100となるように表示しております。

〈参考情報〉 **組入投資信託の運用レポート** 【特別勘定の名称】グローバル分散型SMTB（豪ドル）

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
ラップ戦略VAファンド（適格機関投資家専用）

【設定・運用】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

作成基準日： 2025年2月28日

運用概況 ［ 2025年2月 ］

トランプ米大統領の関税政策や米国の景気減速が意識される中、主要国の株価はまちまちの動きとなりました。
米国株式市場は下落しました。中旬にかけては大手ハイテク銘柄が主導し上昇しましたが、下旬に軟調な経済指標や大手半導体銘柄の決算発表などを受けて下落しました。
国内株式市場は下落しました。米国株式市場の下落に連れる展開になったことに加えて、円高・米ドル安の進行などが嫌気されました。
米国債券市場では、金利は低下（債券価格は上昇）しました。中旬にかけては概ね横ばいで推移しましたが、下旬に軟調な経済指標などを受けてFRB（米連邦準備理事会）の利下げ観測が高まり、低下しました。
国内債券市場では、金利は上昇しました。日銀の審議委員からのタカ派的な発言などを受けて、日銀の追加利上げの思惑が高まり、上昇しました。
為替市場では、円は対主要通貨で上昇しました。豪ドルに対しては、上旬は、日銀による利上げ継続期待から豪ドル安・円高が進みました。中旬は、米ドルが対円で上昇するに連れて、豪ドルも対円で上昇しました。その後は日本の実質GDP（国内総生産）が市場予想を上回ったことなどから、豪ドル安・円高が優勢となりました。下旬は、米国が中国に対する追加関税に対してさらに10%を上乗せする措置を実施すると発表したことから、オーストラリアにとって最大の資源輸出国である中国の需要低迷が懸念されたため、豪ドルは対円で下落しました。
このような環境において、主に国内・米国株式などの下落により、「ラップ戦略連動債券」の債券価格の騰落率は、下落しました。

【参考情報】対円為替レートの推移（直近6ヶ月）

※上記グラフはBloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成しています。